

同窓会会長 吉田 和郎（同盟福音大垣・1999.3 信徒奉仕者卒）

7月15日（月・祝）に同窓会総会を金山のクリスチャンセンターで開催することができました。2019年7月に開催して以来、コロナで中止が続き、5年ぶりの開催となりました。

集まったのは、少ない人数でしたが、主の恵みにより、奇跡的に役員改選ができました。本当に感謝です。長い間、事務局長をしていただいた大鐘朝博兄に代わり、関口廣志兄が事務局長を受けてくださることになりました。会計は、浅野真知子姉から牧野芳江姉へ、渉外広報は、竹原真理子姉にお願いしました。（大鐘兄、浅野姉、長い間ありがとうございました。）

関口廣志兄が早速、同窓会会員名簿の整理をしてくださっています。「やっとかめ」などの連絡は、以前から、郵送を減らして、メールを主体に考えていますのでご協力をお願いします。

また、同窓会の年会費は、年2,000円です。幾人かの方から、会費以上に献金も頂き感謝です。会費の中から例年、神学塾に3万円を献金しています。皆様のご協力をお願いします。

同窓会の行事報告

- ・2019年に総会と例会を開催以降、総会開催は中止
毎年、「やっとかめ」を1回発行
- ・2024年7月に総会開催
「やっとかめ」発行以外は未定

同窓会 役員改選結果のお知らせ

（任期2年間）

- 会 長 : 吉田和郎 (99 信徒・大垣)
事務局長 : 関口廣志 (18 信徒・名古屋猪子石)
会 計 : 牧野芳江 (02 信徒・岩倉)
渉外広報 : 竹原真理子 (16 信徒・豊橋ホサナ)

事務局だより

同窓会会費（年2,000円）よろしく（毎年、同窓会から東海聖書神学塾へ献金しています。）

振込み先 〈郵貯銀行〉

名義 東海聖書神学塾同窓会

No. 12110-55510391

一般の銀行からは

店番：218 口座5551039

同窓会会計報告 23.4.1~24.3.31 (円)

項目	収入	支出
同窓会費（延べ12人分）	24,000	
献金収入	26,000	
繰越金	7,749	
献金（神学塾へ）		30,000
総会費		0
事務通信費（やっとかめ他）		2,854
合 計	57,749	32,854

《次年度繰越金 24,895円》



(同窓会長 吉田和郎)

アラカルト 1

まことに 私のいのちの日の限り
いつくしみと恵みが
私を追って来るでしょう。(詩編 23 : 6a)

私事で恐縮ですが、今年 7 月に同窓会を開催し、役員改選ができるという奇跡を体験してから、7 月末にコロナに感染しました。

何が作用したのか、薬を飲んだ夕方から閉尿に。一晩期待しつつ待ちましたが改善しません。朝になれば、と主に期待しつつも、昼になっても全く改善しません。「主のいつくしみと恵み」がダブルで、私を追いかけてきてくれる、と数日前まで証していました。

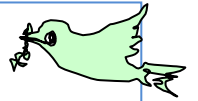
必ず改善する、という期待もむなしく夕方まで閉尿は改善しません。主の御心は、「病院へ」と頭を切り替えて、病院の窓口へ行き、「私はコロナですけど、閉尿です。」管をつけてもらって帰りました。

それからは、家で隔離状態に。妻に感染しては大変なので離れて食事をしたりして過ごしました。救急処置でしたので、何の薬ももらわず 1 週間。熱も下がりコロナ感染も大丈夫そうなので、診察を受けましたが、アウト。症状は全く改善無し。薬をもらって 3 週間自宅待機。

その時看護師さんに、「お風呂に入ってくださいね。」と言われ、「あ、そうか。」とやっと自分の姿に気が付きました。

果たして、治るのだろうか？心配です。しかし、役員改選ができたことが、心の大きな支えになっていました。「神様は、祈りを聴いてくださった。私を愛してくださっている。」眠れない夜に、パリオリンピックの放送があったのも主の恵みでした。

8 月末に OK をいただきました。病気などで苦しんでいる方々に主の平安と癒しがありますように。



アラカルト 2

あなたの道を主にゆだねよ。
主に信頼せよ。
主が成し遂げてくださる。(詩編 37 : 5)

私は、農事組合法人という農業団体の代表になっています。稲刈りは、私達にとって大事な行事です。1 年間いろいろな作業をしてきたのはこの日のためです。

しかし、毎年ドラマがあります。まず、10 月初めに大雨が降って、いくつかの田んぼの水稲が倒れてしまいました。他の人からは、もう機械では刈り取りが無理ではないかと言われましたが、なんとかコンバインという大型機械で刈り取りができました。感謝！！

今年はほかにも湿田状態の田に肝を冷やしました。毎年苦勞している住宅横の田は、今年も沼地。そこへ入ってはいけないと針金で印をつけておきましたが、なんとその針金だけ避けて侵入。コンバインは向きを変えて沼地を出ようと試みます。出られるかなと思うと、後ろの沼地へズルズル。今度は出られるかなと思うとまた後ろへズルズル。ついに、今年はコンバインが沼地にはまってしまった、もう助からない、と 2 回ほど覚悟しました。それでも、その後やっと沼地を脱出。ハレルヤ！！

実は今年はまだもう 1 か所、大変な田がありました。なぜか田の全体に田植えができるほどの隣地から？湧き水。ともかく一部を手で稲刈りして(大変)どこまで乾いているか確かめて、半分は、コンバインで稲刈りできました。

1 週間ほど後の最終日(以前の天気予報は雨)。沼地状態の残りは手で稲刈りするしかないと覚悟し、田植用の長靴を履いて出かけました。(ふつうの長靴では身動き取れなくなる。)

なんと、コンバインが乾いた地から沼地へ、何度もトライして稲刈り完了。ハレルヤ！！
「喜びの声をもって、神に大声で叫べ。」

(詩編 47 : 1b)

